

ご質問ご意見は下記へお寄せください。

 **住友精化株式会社**  
総務人事室(総務)

〒541-0041 大阪市中央区北浜四丁目5番33号(住友ビル)  
TEL:06-6220-8508 FAX:06-6220-8541  
<https://www.sumitomoseika.co.jp/>

# CSR 報告書 2021

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。



このCSR報告書は、環境への配慮のため、植物油のインクを使用しています。また、印刷は印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷を行っています。



清水製菓株式会社

# 私たちが目指すもの ～住友精化グループの基本理念～

住友精化グループは、経営の礎となる基本理念体系を定めています。  
それは理念としての「住友の事業精神」「企業理念」「コーポレートステートメント」と、  
それを支える3つの指針から成り立っています。  
この基本理念体系のもと、私たち住友精化グループは、人々の健康で快適な暮らしを実現し、  
社会の発展に貢献するために日々新たな課題に挑戦してまいります。



## 住友の事業精神

▶ 住友の事業精神についてはP.33参照

### 1. 「営業の要旨」

- 第1条 わが住友の営業は信用を重んじ確実を旨とし、もってその鞏固隆盛を期すべし。
- 第2条 わが住友の営業は時勢の変遷、理財の得失を計り、弛張興廃することあるべしといえども、いやしくも浮利にはしり軽進すべからず。

### 2. 「自利利他 公私一如」

## 企業理念

住友の事業精神の下で、住友精化グループは、化学の分野で世界に通じる独創的な技術を開発し、特色のある質の高い製品を国内外に供給することにより、社会の発展に貢献します。

## コーポレートステートメント



我々は世界の変化を先取りし、  
独自性のある自由な発想で  
驚きを提供し、  
自らも成長し続けることにより、  
地球と人々の暮らしに  
潤い(URUOI)を与えます。

## CONTENTS

	<b>住友精化の事業活動</b>	<b>01</b>	私たちが目指すもの ～住友精化グループの基本理念～
		<b>02</b>	目次／編集方針
		<b>03</b>	ステークホルダーの皆さまへ
		<b>05</b>	2022年度 中期経営計画
		<b>06</b>	住友精化グループが目指すCSR
		<b>07</b>	CSR委員会
		<b>08</b>	レスポンシブル・ケア活動の方針・推進体制
		<b>09</b>	レスポンシブル・ケア活動と実績
		<b>環境への取り組み</b>	<b>11</b>
<b>社会との関わり</b>		<b>15</b>	地域・社会とともに
		<b>17</b>	お客様・お取引先様とともに
		<b>20</b>	社員とともに
	<b>22</b>	株主・投資家とともに	
	<b>ガバナンス</b>	<b>23</b>	ガバナンスとリスク・コンプライアンス
	<b>会社情報・事業報告</b>	<b>25</b>	会社概要と2020年度の業績
<b>26</b>		事業紹介	
<b>29</b>		暮らしの中の住友精化	
<b>31</b>		グループネットワーク	
<b>33</b>		住友の事業精神／CSR報告書Webサイトのご案内	
	<b>34</b>	第三者検証意見書	

## CSR報告書発行にあたって

当社グループは、化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至るすべての過程において環境・安全・健康を確保するレスポンシブル・ケア(RC)活動に長年取り組んでいます。このRC活動を軸として、お客様、株主、お取引先、地域の皆様ならびに社会などのステークホルダーの皆様方と当社グループの関わりについて、「CSR報告書」の形で紹介させていただきます。少しでも多くの方に当社グループのCSRの考え方や取り組みを知っていただきたいと考えております。また、今後、更に内容を充実させていきたいと存じます。

なお、本報告書作成に当たり、環境省発行の「環境報告ガイドライン2018」および「環境会計ガイドライン2005」を参考にいたしました。また、記載事項については、一般社団法人 日本化学工業協会による第三者検証を受審しています。

### 報告書の対象範囲

対象組織： 1.RCパフォーマンスデータおよび就労関連データは国内拠点のみを対象としています。  
2.会社概要および2020年度の業績には国内外の連結子会社を含みます。  
対象期間： 2020年4月1日～2021年3月31日  
対象分野： CSR活動およびRCパフォーマンスデータ  
発行： 2021年9月

※当社(住友精化)グループとは、当社および連結子会社からなる企業集団により構成されます。  
※一部、最新の情報掲載のため、対象期間外について掲載するときは、日付を明記しています。



# 「当社グループの事業活動を通じてSDGsの目標達成に貢献してまいります」

Message from the PRESIDENT  
代表取締役社長

小川 育三

本報告書発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えないなか、当社グループは、国内外の全ての拠点において、様々な感染防止対策により地域社会の皆様と従業員の健康を守りながら、事業活動を継続しております。新型コロナウイルス感染症という大きな困難に見舞われ、世界はあらゆる局面で変化を余儀なくされましたが、改めて振り返ってみますと、今回の変化の原因や前兆の多くがコロナ禍以前に既に存在していたことに気づかされます。今後も、過去に経験したことの無い状況がいつでも起こり得ることを想定して、これまで以上に小さな変化を敏感に察知し、機を逸することなく的確に対応してまいりたいと存じます。

当社グループは、「住友の事業精神の下で、住友精化グループは、化学の分野で世界に通じる独創的な技術を開発し、特色のある質の高い製品を国内外に

供給することにより、社会の発展に貢献します」を企業理念として、世界共通の目標であるSDGsの課題に取り組んでおります。本報告書では、各ページに記載した具体的な活動に対応するSDGs目標のアイコンを示しました。本年度は、各活動における具体的な目標の設定から実績の評価に至るまで、経営のコミットメントを明確にし、全従業員がより高い意識をもって取り組むため、当社における経営の重要課題をベースとしたマテリアリティの策定を進めております。

また、日本を含む各国・地域が2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すことを相次いで表明し、様々な検討や活動がグローバルに加速しております。当社は、全社横断の委員会を立ち上げ、事業活動における温室効果ガス(GHG)排出量の取りまとめ、GHG削減計画の策定、サプライチェーン全体でのGHG削減対策の具体化を進めて

おります。さらに、当社が保有する様々な技術資産を活用して、社会全体のGHG排出削減に貢献する製品・技術の開発に取り組んでおります。

本報告書でご紹介した当社グループのCSR活動の考え方と取り組みへのご理解を賜るとともに、今後の活動の向上のため、忌憚のないご意見、ご指摘をいただければ幸いです。なお、来年度より、本報告書に代えて、当社の価値創造ストーリーをステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えすることを目指し、企業理念、マテリアリティ、事業戦略、業績報告、ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組みなどを総合的にまとめた統合報告書の発行を予定しております。今後とも当社グループへの更なるご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2021年9月

## 住友精化グループは 以下のCSR活動に取り組んでいます。

### 事業活動を通じた社会貢献

当社グループは、事業そのもの、つまり製品やサービスの提供を通じて社会の持続的な発展に貢献してまいりたいと考えております。

例えば、当社の製品である高吸水性樹脂“アクアキープ”は、紙おむつの原料として使用されています。より高品質の製品を提供することで、赤ちゃんをはじめ、紙おむつを使用するすべての人の清潔で快適な暮らしと、育児や介護に関わる方の負担軽減に貢献できるものと考えております。

当社グループは、自らの製品やサービスを通じた社会的な課題の解決と持続可能な社会の発展への貢献を強く意識して、事業活動に取り組んでまいります。

### 安全の確保・安定操業の実現

安全の確保・安定操業は我々の事業を支えるコアであり、事業に係るすべてのプロセスに光を当て、安全をすべてに優先し、安定して製品を供給することが、我々の果たすべき社会的な責任です。日頃から「想定外のことを想定すること」を忘れず、「安全をすべてに優先させる」という基本原則のもと、安全に対する地道な活動を行ってまいります。例えば、全社をあげての事故対策訓練を行い、従業員の危機管理意識の更なる向上に取り組んでいます。今後とも、これまでの事故事例や訓練での成果を踏まえ、管理レベルをより向上させるべく、教育や訓練、技術伝承といった人材育成にも注力してまいります。

### 地球レベルでの環境保護実現

地球レベルでの環境保護実現のため、省エネルギーの推進、廃棄物削減、PRTR法対象化学物質・揮発性有機化学物質(VOC)の削減、重大環境トラブル“ゼロ”などの目標を掲げ、対策を実施しております。また、その他の項目に関しても、引き続き対策を実施し、着実に取り組むことで、環境

保護に努めてまいります。

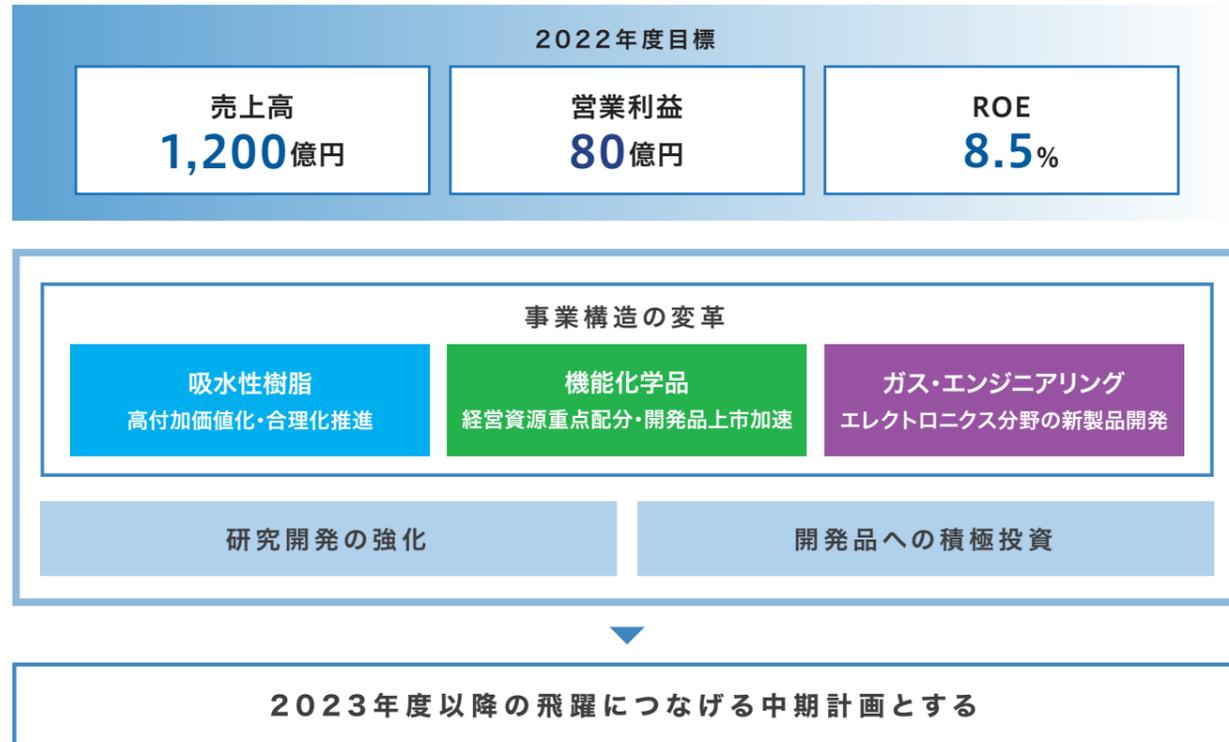
カーボンニュートラルへの取り組みにつきましても、世界全体で取り組むべき重要な事項と認識しております。政府の掲げる2050年度のCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロの方針に向かって、全社横断的な準備委員会を立ち上げました。今後、具体的な取り組み課題を設定し、当社の事業活動で排出されるCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスを削減するとともに、サプライチェーン全体での温室効果ガス排出削減に取り組み、カーボンニュートラル社会の実現に全社をあげて取り組んでまいります。

### 企業の社会的責任を果たす

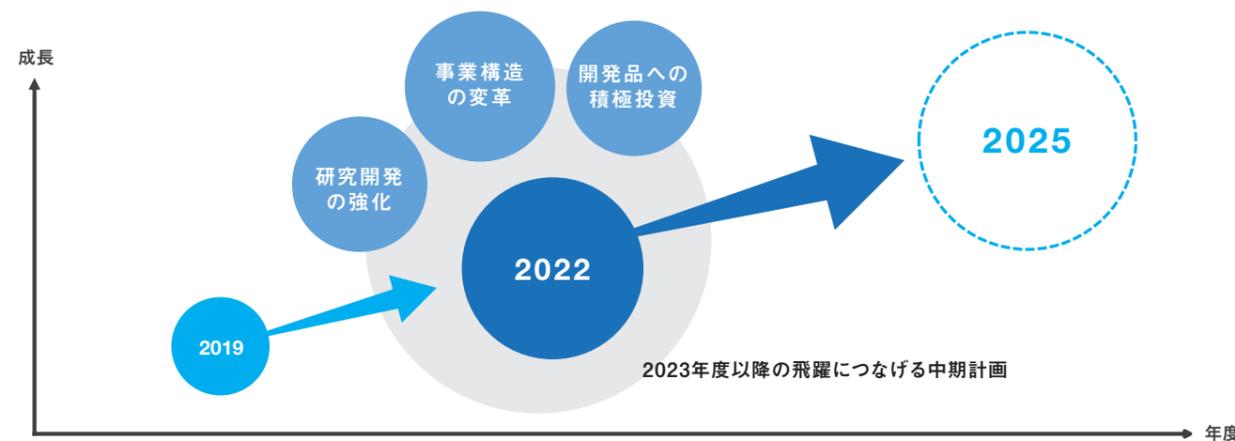
企業の社会的責任を果たすためにレスポンシブル・ケア精神を尊び、コンプライアンス遵守に努めています。更には内部統制システムの充実、製品の品質維持・向上、環境保護と安全の確保、様々なステークホルダーとの対話を通じたコーポレート・ガバナンスの強化、地域社会への貢献といった取り組みを通じ、企業価値の更なる向上を図ってまいります。

# 2022年度 中期経営計画

2020年度から2022年度までの中期経営計画では、喫緊の経営課題である事業構造の変革および研究開発の強化に取り組み、3事業すべてが成長を牽引する事業構造への転換を進めることとします。



2023年度以降の飛躍に向け、サステナブルな事業構造へ転換



2025年度目標

事業環境変化や新製品開発状況等を踏まえ、次期中期経営計画として策定

# 住友精化グループが目指すCSR

当社グループは、指針として、「住友精化グループが目指すCSR」を制定し、CSR活動に全社でコミットするとともに世界共通の目標であるSDGsの課題に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献していくことを表明しています。

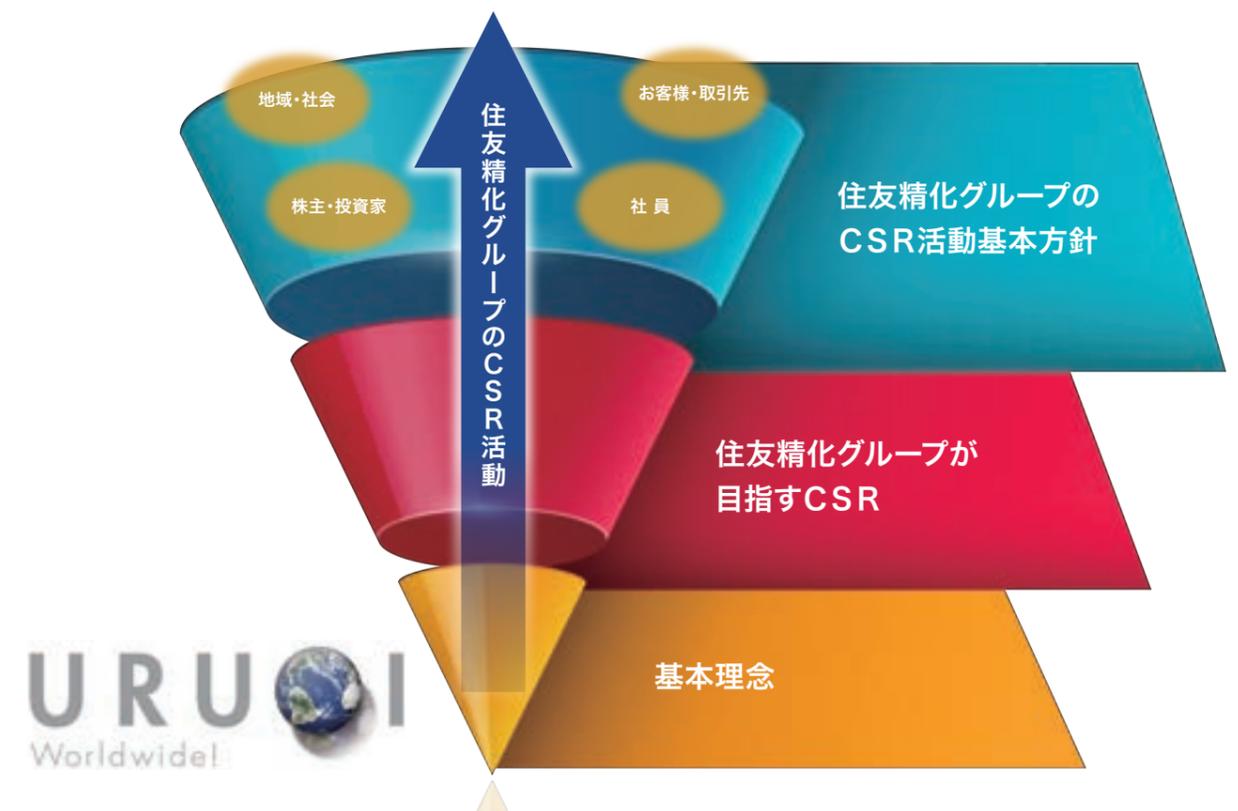
## 「住友精化グループが目指すCSR」

住友精化グループは、企業理念の実践により、我々にしかできない価値を創造することで、世界共通の目標であるSDGsの課題に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。これにより、全てのステークホルダーの期待に応えていくことを目指します。

## 「住友精化グループのCSR活動基本方針」

住友精化グループは、以下の基本方針の下で、CSR活動に取り組んでまいります。

1. 快適な暮らしを支える製品の提供、ニーズを機能で解決する製品の開発、産業基盤を支える優れた製品とサービスの提供を通じて、社会的課題を解決し、持続可能な社会の発展に貢献します。
2. 化学メーカーとして、無事故無災害を最優先に考え、工場の安全・安定操業と製品の安全輸送に取り組みます。
3. 製品と生産プロセスがヒトや環境に与える影響を適切に評価し、安全性の確保と環境への配慮に取り組みます。
4. 品質管理を徹底し、お客様が満足・安心して使用できる製品とサービスを提供します。
5. 従業員が安全かつ健康的に仕事に取り組むことができる職場環境を提供し、仕事に誇りとやりがいを持てる組織風土をつくりまします。
6. 企業市民として、社会に参画し、社会との共存共栄を目指します。



## CSR委員会

当社グループは「住友精化グループが目指すCSR」および「住友精化グループのCSR活動基本方針」を実現するための全社横断的な具体的活動推進機関として各部門長で構成される「CSR委員会」を設置してCSR活動に取り組んでいます。CSR委員会では、住友精化グループCSR活動の年度目標の策定、CSR活動の実施状況のレビューや各部門のCSR活動に対する指導および助言を行っています。

また、CSR委員会によって定められた全社年度目標に基づき、各部門は自部門の目標を設定し、CSR活動を進めています。



### 住友精化グループのCSR活動

#### SDGsへの取り組みに向けての意識の変革と実践

#### 2020年度目標

1. 当社事業活動を行う上で、SDGsに関し、どのような課題があるかを抽出し、また、当社ステークホルダーへの影響を評価した上で、会社全体として優先的に取り組む課題（マテリアリティ）を決定する。
2. 海外子会社を含めた全部門がそれぞれの立場で、SDGsの17の目標のなかで自部門が貢献すべき目標を設定し、日々の業務活動を通じた貢献を図る。

### 2020年度活動実績紹介—全社員を対象にしたSDGs関連教育(e-learning)の実施

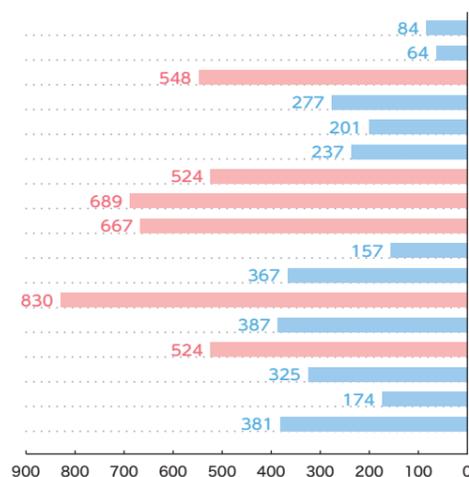
全社でSDGsの活動に取り組んでいくにあたり、知識レベルでの全社員の足並みを揃えるため、基礎教育として全社員を対象にe-learningを実施しました(実施時期:2020年6月)。併せて受講後にアンケートを実施しましたので、その結果の一部をご紹介します。

#### 【アンケート設問例】

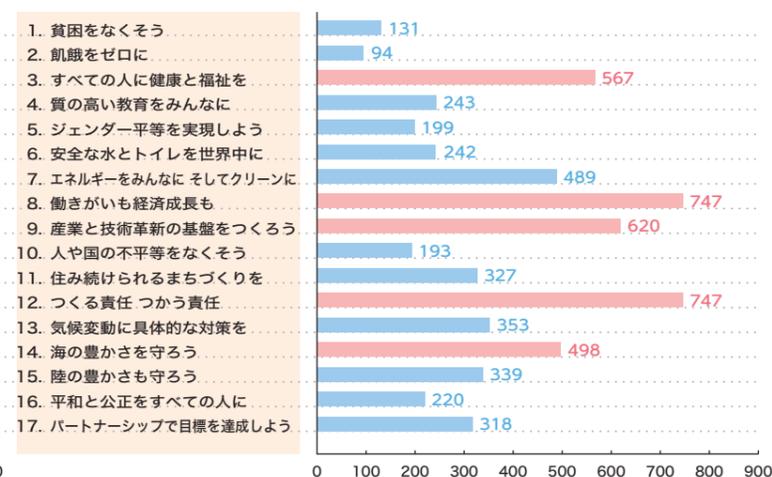
- Q1:SDGsの17の目標の中で、自身の業務に関係があると考えられる目標はどれか。  
Q2:会社として、SDGsの17目標のうち、どれに重点的に取り組むことを望むか。

これらの結果、SDGsの17の目標のうち、自己の業務に関連あるものと会社に重点的に取り組んでほしいものは、ほぼ同様の傾向となり、それぞれ「8.働きがいも経済成長も」、「9.産業と技術革新の基盤をつくろう」、「12.つくる責任 つかう責任」が上位3項目となりました。これらの事項は化学メーカーとしての使命でもあり、当社グループのマテリアリティ(優先課題)特定にあたっては、このような点も参考としてまいります。

#### ■自身の業務に関係があると考えられる目標



#### ■会社に重点的に取り組んでほしい目標



## レスポンシブル・ケア活動の方針・推進体制

当社は、自主的に「環境・安全・健康」を確保し、これに「品質」を加えた4つに重点をおいて、社会との対話を行うレスポンシブル・ケア活動に取り組んでいます。

### 方針

当社および当社グループは、化学の分野で世界に通じる独創的な技術を開発し、特色ある質の高い製品を国内外に供給することにより社会に貢献するという企業理念の下、この理念を実現させるために「レスポンシブル・ケア」の考え方・取り組み方を基本としたRC活動を展開しています。

「レスポンシブル・ケア」とは、化学物質を扱うそれぞれの企業が化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至るすべての過程において、自主的に「環境・安全・健康」を確保するとともに、品質問題の重要性という観点から「品質」も加えた4つに重点をおき、活動の成果を公表し社会との対話・コミュニケーションを行う活動のことです。当社では「安全・環境・品質に関する経営基本方針」を策定し、当社グループ各部署が具体的な目標を掲げてこのレスポンシブル・ケアの精神に沿った業務を行い、企業理念の実現を図ることとしています。

また、当社では2014年に改訂された「レスポンシブル・ケア世界憲章」に署名を行い、レスポンシブル・ケアの精神に沿った事業活動を行うことを、国内外に宣言しております。

### 推進体制

当社ではレスポンシブル・ケア委員会を設置して、環境・安全配慮の活動を統括するとともに、より一層の活性化を図る体制を取っており、レスポンシブル・ケア委員会の下部組織であるRC推進委員会がRC活動の進捗管理等のより具体的な活動を担っています。こうした体制により全社的な経営・従業員双方向の議論を促し、迅速かつ着実にRC活動を進めることに繋がっています。

### 具体的活動

RC推進委員会においては、環境と社会に対する側面から当社の自主的な社会貢献実施項目を設定しています。この実施項目を各部署においてレスポンシブル・ケア活動の基本(7本柱)である「環境保全」「保安防災」「労働安全衛生」「化学品・製品安全」「物流安全」「品質」「コミュニケーション(成果の公表・社会との対話)」に落とし込んだ実施目標を策定し、毎年計画-実行-評価-改善のPDCAサイクルで活動を継続しています。その状況についてはRC推進委員会で評価しています。

環境保全、保安防災、労働安全衛生、化学品・製品安全等については、客観的な実地での確認評価が必要な事項があることから、原則として年に1回国内製造事業所および海外連結子会社製造事業所のRC監査を実施しています。2020年度はコロナ禍により実地確認監査に代わり、チェックリスト方式での監査としました。今後も状況を勘案した上でリモート監査の可能性なども探っていく予定です。

なお、当社ではISO9001(品質)、ISO14001(環境)、OSHMS(労働安全衛生)システムの認証取得を受けており、認証機関からの更新・維持審査を受審して第三者的な観点での改善事項等もRC活動の改善事項の一つとして捉えています。



「安全・環境・品質に関する経営基本方針」

「レスポンシブル・ケア世界憲章」

## レスポンシブル・ケア活動と実績

「レスポンシブル・ケア活動の取り組み課題と実績」について報告します。

## 2020年度の活動実績

項目	目標	目標達成状況	評価
コンプライアンス	(1)法違反“ゼロ” (2)社内規則およびルールの遵守	(1)法違反：0件 (2)「決められたルールを必ず守る」意識の周知徹底への取り組み、「規則・ルール記載書類の見直し」などを実施。	○
労働安全	休業災害、不労災害および交通事故(加害)“ゼロ”	休業災害：0件、不労災害：0件 ただしグループ会社、パートナー会社にて不労災害2件発生 交通事故(加害)：12件	×
衛生	私傷病休業者の削減および快適な職場作りの推進	時間外労働時間の削減や有給休暇取得率の向上、メンタルヘルスケアの強化、健康診断の充実などの取り組みを実施。	○
保安・防災	(1)重大トラブル“ゼロ” (2)トラブル発生時の対応強化	(1)重大トラブル：0件 (2)各種訓練の実施	○
化学品安全	化学品の適正管理の推進	情報収集方法を充実させ、各事業部や海外事業所への情報提供を行い、その対応についても協議している。日本・アジア・欧州など、各国化学品規制への対応を適切かつ的確に実施している。	○
物流安全	重大物流事故“ゼロ”	重大物流事故：0件	○
環境	重大環境トラブル“ゼロ” (1)製造・製品輸送に関わるエネルギー原単位：対前年度比1%削減 (2)廃棄物発生原単位：0.039 t/t(代表製品生産量換算)維持(2015年度実績) 最終埋立処分量：廃棄物発生量の1%以下	重大環境トラブル：0件 (1)製造エネルギー原単位：0.340 対前年度比4.0%削減 輸送エネルギー原単位：5.55 対前年度比2.4%増加 (2)廃棄物発生原単位：0.041 t/t 最終埋立処分量：30 t/年(発生量の0.3%)	○
品質	(1)重大クレーム“ゼロ”の継続 (2)自社起因品質トラブルの削減 全社品質トラブル件数 55件以下 人的要因品質トラブル件数 10件以下 (3)損失コスト削減 1,500万円以下	(1)重大クレーム：0件 (2)自社起因品質トラブルの削減 全社品質トラブル件数 70件 人的要因品質トラブル件数 17件 (3)損失コスト 1,690万円 7月末現在のデータであり、最終は若干の変動あり。	×
住友精化グループへの対応	海外グループ会社の安全・環境管理、化学品安全および品質保証体制の強化	災害速報、トラブル報告および品質月報の配信を実施、海外事業所のRC監査・品質監査はコロナ禍により見送り。	○
情報公開と社会貢献	ステークホルダーへのRC情報の提供によるコミュニケーション、および地域貢献の促進	新型コロナウイルス感染防止のため対面での活動は実施できなかったが、CSR報告書などを通じて情報提供を行った。	△

○：目標達成 △：目標ほぼ達成 ×：目標未達成



## 2021年度の取り組み

項目	目標
全般 (各項目に共通した事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自主的取り組みの活性化</li> <li>● ルール遵守を大前提とした自主的取り組み</li> <li>● 継続性を保ちつつ必要な更新を適切に行う</li> </ul>
保安防災 (設備災害の防止)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法令・基準の遵守、事故・災害ゼロ</li> <li>● 設備設計基準・関連法令の遵守</li> <li>● 保安管理レベルの向上</li> <li>● 危険源の特定とリスクの低減</li> <li>● 自然災害への備え</li> <li>● 設備管理(計画保全)の推進</li> </ul>
労働安全衛生 (従業員の安全と健康を守る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康経営(災害防止と健康維持)に繋げる、安全衛生に関する制度・施策の整備、労働災害防止、メンタルヘルス対策</li> <li>● 労働安全マネジメントシステムを利用した労働安全衛生管理</li> <li>● KY・リスクアセスメントの実施</li> <li>● 休業災害防止(ルール違反による労働災害ゼロ)</li> <li>● 工事管理の徹底</li> <li>● 安全で快適な職場環境作り</li> <li>● 労働安全衛生教育</li> </ul>
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大気環境保全、水質・海洋環境保全、土壌環境保全、地球温暖化防止(政府目標達成に向けた取り組み：当社事業所周辺対応とグローバル対応)</li> <li>● 環境に配慮した製品の開発</li> <li>● 環境事故防止(製造時・顧客使用時)</li> <li>● 有害物質の排出削減</li> <li>● エネルギー原単位削減</li> <li>● 環境配慮製品の購入推進</li> <li>● 最終用途・消費後の廃棄を想定した環境対策</li> </ul>
化学品安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品中の化学物質管理、国内外の規制対応、人体および生活環境への有害性評価と影響削減</li> <li>● 有害物質の使用中止・排出最小化</li> <li>● 川下ユーザーに向けた情報提供</li> <li>● 原料・中間体・製品の安全性評価</li> <li>● 国内外規制の情報収集と周知徹底</li> </ul>
物流安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物流事故防止、「ホワイト物流」推進による持続可能な物流の実現</li> <li>● 物流委託会社に対する教育訓練の継続支援による物流事故の未然防止</li> <li>● 輸送途上事故想定訓練、合同訓練の実施</li> <li>● 荷役作業の安全対策の推進</li> <li>● 長距離輸送の見直し</li> <li>● 異常気象等発生時の管理徹底</li> </ul>
品質	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重点品質目標</li> <li>● 重大品質クレームの根絶：ゼロの継続</li> <li>● 品質トラブル件数の削減：55件以下</li> <li>● 人的要因品質トラブルの削減：10件以下</li> <li>● 損失コストの低減：1,500万円以下</li> </ul>
社会とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法的に求められている情報提供等の実施、ステークホルダーに対する情報公開、住友精化グループ内へのRC活動内容等の情報共有</li> <li>● 正確な情報公開を通じてステークホルダーとの相互信頼関係を強化する</li> <li>● 地域に密着した活動を通じて企業価値を高める</li> </ul>

# 環境保全

環境負荷物質の低減は、地球環境と人の健康・安全に配慮する上で重要な課題ですので、環境トラブル“ゼロ”、および事業運営に伴う環境負荷の低減を図ることで環境保全への貢献に努めています。

## ▶ 環境負荷 (2020年度実績)



(※) CO<sub>2</sub>のみ、本社を含んでいます。

## 環境トラブルの防止

当社は重大環境トラブル※“ゼロ”を毎年目標として掲げて活動しており、2020年度はトラブル“ゼロ”でした。

今後も環境トラブルを起こさないよう、大気汚染防止法、水質汚濁防止法の規制値や自治体との協定値を遵守するとともに、環境保全に努めます。

※製造工程などで、環境における重大な不具合が発生したものをいう。

- ① 公設防災機関の出勤をおおぎ、防災活動を求めたもの。
- ② 環境関係法規に照らし、処分を受けたもの。
- ③ 環境関係法規に従い、関係機関に届出を行ったが、行政処分は受けなかったもの。

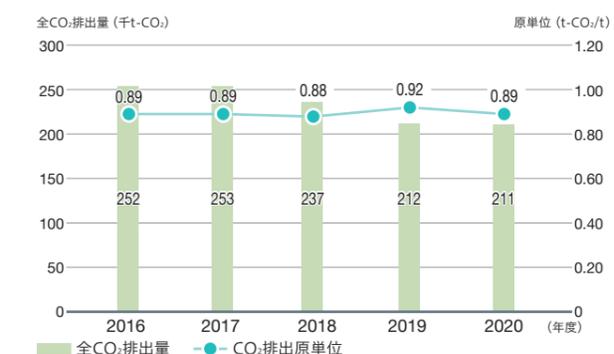
## 地球温暖化防止・省エネルギー

代表製品換算生産量の単位当たりに対するCO<sub>2</sub>排出量やエネルギー使用量を「原単位」として把握・管理し、環境保全に努めています。2020年度は、「エネルギー原単位 対前年度比1%削減」の目標に対し、種々対策を講じた結果、対前年度比4.0%削減することができました。

### ▶ 省エネルギー状況



## ▶ CO<sub>2</sub>排出量



## 水質保全

活性汚泥処理などにより、水質汚濁物質の排出量低減や適正管理に努めており、2020年度はほぼ昨年同等となりました。

### ▶ 水質汚濁負荷量



## 大気汚染防止

SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>、ばいじん、化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 対象物質、VOC物質の適正管理や排出量の低減に努めています。

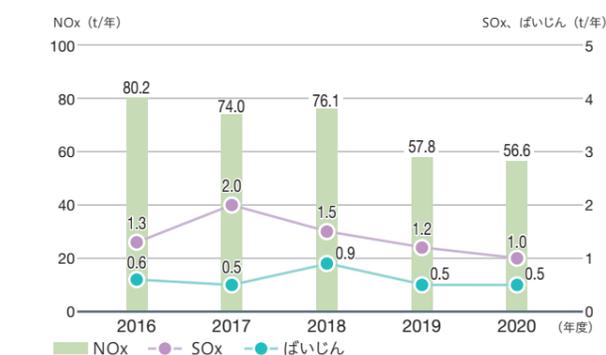
2020年度は、SO<sub>x</sub>排出量は減少しましたが、NO<sub>x</sub>、ばいじんの排出量は横ばいでした。

PRTR法対象物質の大気排出量削減に努めていますが前年度と比べ増加しました。

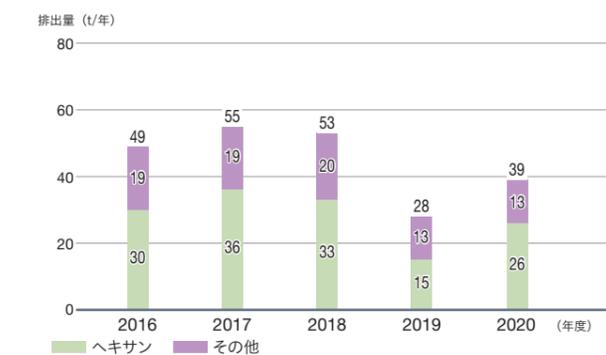


また、VOC物質の排出量は、設備の稼働率が上昇したことなどにより前年度と比べ増加しました。

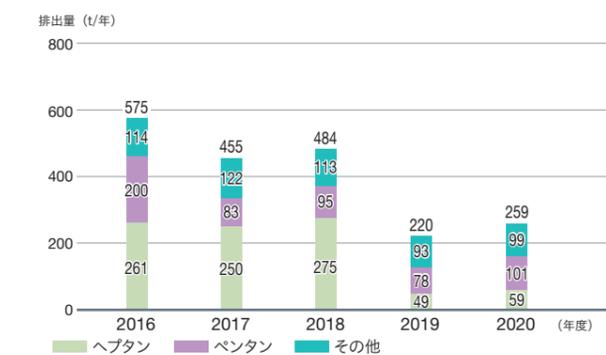
### ▶ NO<sub>x</sub>、SO<sub>x</sub>、ばいじんの排出量推移



### ▶ PRTR法対象物質大気排出量



### ▶ VOC物質排出量



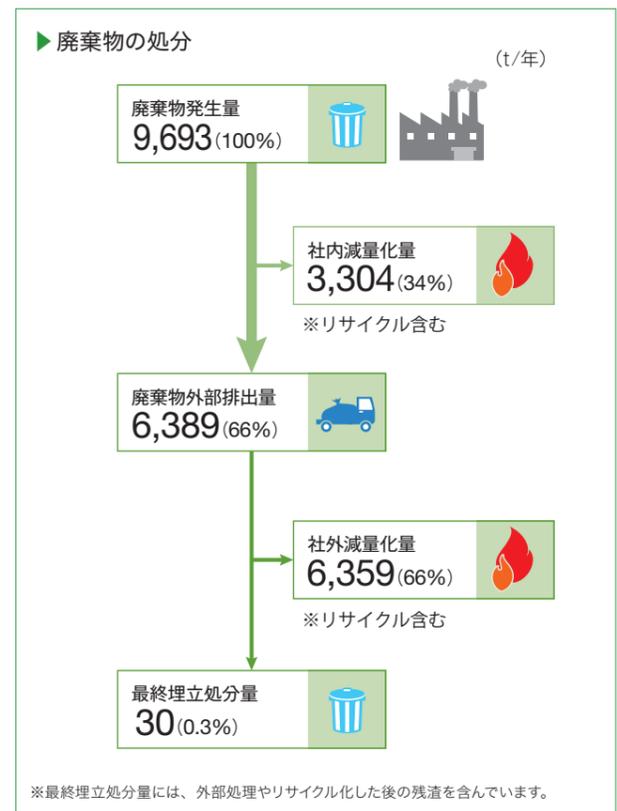
# 環境保全



## 廃棄物削減

廃棄物を排出するに当たり、分別、manifestの管理、産業廃棄物処理委託業者への適切な処理依頼など、廃棄物処理法を確実に遵守しています。

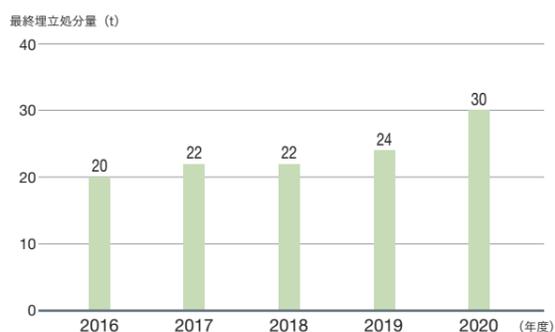
2020年度は廃棄物発生原単位0.041t/t、最終埋立処分を廃棄物発生量の1%以下の目標に対し0.3%、最終埋立処分量は30tでした。



### ▶ 廃棄物外部排出量および発生原単位



### ▶ 最終埋立処分量



### ▶ リサイクル量とリサイクル率



### ▶ 2020年度環境会計および経済効果

年度		2018		2019		2020	
環境保全コストの分類		投資額	費用額	投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリア内コスト	公害防止コスト	4	280	70	258	10	264
	地球環境保全コスト (温暖化・省エネ)	34	1,878	23	1,797	19	1,642
	資源循環コスト	0	284	0	328	9	309
上・下流コスト		1	11	0	11	0	11
管理活動コスト		26	172	13	161	12	159
研究開発コスト		153	325	15	168	41	253
社会活動コスト		0	2	0	1	0	2
環境損傷対応コスト		0	0	0	0	0	0
総計		218	2,952	121	2,724	91	2,640
経済効果		472		443		656	

対象期間：毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間 範囲：当社単独  
算出方法：投資額、ランニングコスト等の費用額は実行費用から環境保全に関わる割合を案分して算出しています。

### ▶ 工場パフォーマンスデータ (2020年度)

		別府工場	姫路工場	千葉工場
エネルギー (原油換算)		12,900k ℓ/年	65,600k ℓ/年	1,890k ℓ/年
大気	CO <sub>2</sub>	74,500t/年	127,000t/年	4,380t/年
	SO <sub>x</sub>	1.0t/年	—	—
	NO <sub>x</sub>	6.2t/年	50.2t/年	0.2t/年
	PRTR法対象物質	2.8t/年	32.9t/年	5.7t/年
排水	排水量	2,110千m <sup>3</sup> /年	2,110千m <sup>3</sup> /年	260千m <sup>3</sup> /年
	COD	26.8t/年	16.3t/年	0.29t/年
廃棄物	発生量	6,450t/年	3,110t/年	137t/年
	リサイクル率	57%	100%	98.5%
	最終埋立処分量	22.1t/年	7.5t/年	0.4t/年

## 地域・社会とともに



### 地域・社会の皆様とのコミュニケーション

地域との良好な関係の構築・発展のため、各事業所において「情報開示」、「地域の皆様とのコミュニケーション」活動に取り組んでいます。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止や見送りとなったものもありますが、本パートでは、例年の開催内容やWeb会議の活用など従来と異なる形での開催を実施したものを紹介します。

#### イベントへの参画

2020年度はイベントが中止となりましたが、例年日本化学工業協会主催の化学の日子ども化学実験ショー（実験テーマ：つくってみようよ！「ぶるぶる芳香剤」）、兵庫県播磨町でおもしろ教室（食品サンプルの製作を通じて、ゴミの分別やリサイクルといった環境問題について考える講座）、兵庫県姫路市主催のひめじ環境フェスティバルへの出展を行っています。

これらの活動により、子ども達が化学に興味を持ったり、環境問題について考えてもらう機会となればと考えています。

#### 地域の清掃・美化活動

各工場において定期的に事業所周辺道路や側溝などの構外清掃活動を積極的に行っています。



構外清掃（千葉工場の例）

#### 地域の方との交流

2020年度は開催できませんでしたが、「情報開示」と「地域の皆様とのコミュニケーション」の一環として、「地域の方の防災訓練見学」などを開催し、当社の取り組みを説明するとともにご意見やご提案を伺う場を設けています。

近隣の住民の方にもグラウンドを開放し、交通安全教室や各種活動などに活用いただいています。



近隣保育園での交通安全教室（姫路工場）

#### 就業体験などの受け入れ

2020年度は大学生・大学院生を対象に、オンラインでのインターンシップを開催し、多くの方々に参加いただきました。例年は、工場において中学生や高校生が、自らの専攻、職業観、生き方などを考える機会として「インターンシップ」や兵庫県の「トライやるウィーク」といった就業体験の受け入れを行っていますが、こちらは中止となりました。



イメージ画（オンラインでのインターンシップ）

#### 献血活動

赤十字血液センター移動献血車による社内献血活動を行っています。2020年度は大阪地区・別府工場において、合わせて100名ほどの社員が参画しました。また、大阪地区にて、これまでの累積活動年数40年以上にわたる献血活動協力により、日本赤十字社より感謝状が授与されました。今後も継続していきます。



日本赤十字社からの感謝状（大阪本社）

### 労働安全衛生・保安防災

「安全をすべてに優先させる」を経営の基本理念とし、従業員が安全で安心して働くことができる職場づくりを目標に取り組んでいます。

#### 労働安全衛生

当社は、休業災害、不働災害および交通災害（加害）“ゼロ”を毎年目標に掲げています。2020年度は当社では休業災害、不働災害ゼロを達成できましたが、グループ会社、パートナー会社で2件の不働災害が発生しました。今後ともSEIKA安全基本ルール（作業前の一呼吸、相互注意）を従業員一人ひとりに浸透させるとともに、「決められたルールを必ず守る」意識の周知徹底を行うことで、災害“ゼロ”達成に取り組んでいきます。

#### 保安防災

当社は重大トラブル※“ゼロ”を毎年目標に掲げており、2013年度に1件発生した以降、“ゼロ”を継続しています。

トラブルを防止するために、手順書・要領書の見直し、設備の定期点検・日常点検の実施、リスクアセスメントなどを実施し、不安全箇所、不安全行動などの改善を行うことで、事故の防止に努めています。

また、定期的に地震・火災・漏洩などの災害事故を想定した実地訓練を地域の消防と協力して実施しています。

災害、事故などの有事発生の際、重要業務への影響を最小限に抑え、速やかに事業の復旧・再開

ができるようにBCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）を策定中です。

今後も必要な知識や技能の習得ができるよう、実践的な内容で訓練を継続し、危機対応能力の向上を図っていきます。

※製造工程などで、安全（保安防災）で重大な不具合が発生したもの

- ① 公設防災機関の出動をあおぎ、防災活動を求めたもの。
- ② 防災関係法規に照らし、処分を受けたもの。
- ③ 防災関係法規に従い、関係機関に届出を行ったが、行政処分は受けなかったもの。

をいう。



総合防災訓練（千葉工場の例）

#### 労働災害（工場内）の発生件数



#### 現場インタビュー

#### コロナ禍での防災訓練 — 備えよ 常に！ 別府工場 ファインガス課 小西 芳幸 さん

今回はコロナ禍での防災訓練だったため、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、防護服、心肺蘇生法の省略など感染防止対策がされた中での訓練でした。そのような状況下でしたが、日々の訓練の成果もあり、消火栓操作・漏洩処置についてはスムーズに与えられた役割をこなすことができました。なお、今回は加古川市東消防署の方々には、緊急出動のため、訓練に参加していただくことができませんでしたので、実際に、梯子車での救出や消火栓操作を見学することができず、非常に残念でした。



総合防災訓練（別府工場）

さて、近年、日本では台風や豪雨といった災害が頻繁に発生しており、各地に甚大な被害をもたらしています。そのような自然災害は、人間の力では到底食い止めることはできません。しかし、災害による被害は、日頃からの備えによって軽減することが可能です。「自分ができること・みんなでできること」を常に考え、有事に備えておくことが大切であると感じました。今回の防災訓練で学んだことを今後の活動に生かし、有事の際に迅速な対応ができるように、日々の訓練に取り組みます。



## お客様・お取引先様とともに



当社は、グループ全体でお客様に満足し、かつ安心して、使用いただける品質の製品とサービスの提供を通じて、お客様との長期的な信頼関係を構築すべく、日々業務にまい進しています。

### お取引先様との連携

当社は、企業の社会的責任を果たしていくためには、お取引先様の協力が不可欠と考えています。適正な評価と、公正かつ透明性のある購買方針のもと、お取引先様と連携しながらサプライチェーン全体で、社会的責任の実現を図っていきます。

#### 購買基本理念

1. 住友精化は自由で透明性のある誠実な購買活動に努めます。
2. 住友精化はコンプライアンスを大前提とした購買活動を行います。
3. 住友精化は購買活動遂行にあたり個人的利害を反映させません。
4. 住友精化は購買活動において企業の社会的責任の遂行を果たします。
5. 住友精化は購入取引先の選定について以下の事項を重視します。
  - ◇社会的規範、関係法令を遵守していること
  - ◇反社会的勢力との繋がりが無いこと
  - ◇環境保全に取り組んでいること
  - ◇人権の尊重と人種差別の排除に取り組んでいること
  - ◇労働環境に関する配慮を重視していること

## TOPICS

### 全日本物流改善事例大会2020 優秀事例選出

2020年7月、全日本物流改善事例大会2020（主催：公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会、一般社団法人日本物流資格士会）において、輸・配送管理および在庫管理などの物流管理面に関し「工場内倉庫出荷比率向上によるコスト削減の実現」の事例について応募し、多数の応募事例の中から優秀事例として選出されました。本大会は、物流における「現場力」をさらに高めるべく、優れた物流改善事例を各社が発表し、課題解決の手がかりやノウハウを共有することを目的として開催されています（なお、2020年は新型コロナウイルス感染症拡大防止を受け、大会自体は中止）。

同事例では、工場内倉庫と外部営業倉庫を併用している樹脂製品の保管・出荷について、生産・包装

計画の見直し・調整する仕組み、緩やかな先入先出（FIFO）運用、管理表による目標・成果の可視化により工場内倉庫出荷比率を向上させるとともに、外部営業倉庫への横持積載率を改善することにより物流コスト削減に成功した点などが高く評価されました。モノと情報の流れの改善による合理化だけでなく、物流環境面



全日本物流改善事例大会トロフィ

### 物流安全/化学品安全

製造工程の安全確保のみならず、物流工程における安全確保や、お客様に対して化学品を適切に取り扱っていただくための安全性データの提供などに積極的に取り組んでいます。

#### 物流安全確保の取り組み

輸送途上における危険有害性物質の漏洩、爆発、火災などの重大事故は地域の安全や環境に大きな影響を及ぼしかねません。

当社では、物流の安全確保と遵法輸送の徹底を図るため、物流会社と一体となって活動を展開しています。

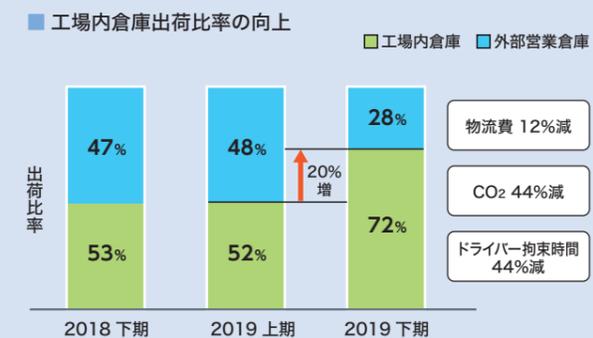
物流会社の管理者や乗務員を対象に保安教育を実施し、危険有害性物質の特性、安全な取り扱い方法を周知することで、事故の未然防止に努めるとともに、事故発生時に迅速かつ的確に対応するために、共同で緊急通報訓練や災害拡大防止処置の訓練を実施しています。

#### 化学品安全への取り組み

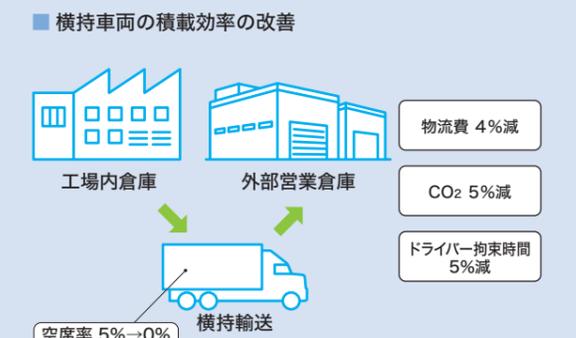
化学物質が世界的に流通する中、製品などに含有される化学物質の適正管理のため、国際的に法規制の厳格化が進んでいます。

当社は、国内外の法規制の遵守を徹底するとともに、お客様に当社製品を安全に取り扱っていただくため、化学物質の危険性有害性情報を積極的に取得し、各国の言語での「SDS（安全データシート）」「GHSラベル」を通じて、お客様に提供し、適切な使用をお願いしています。

からドライバー不足の状況下における安定的な車両確保、横持車両台数・サイズの適正化による環境負荷の低減、社内人材育成面から業務成果の可視化による担当者のモチベーション向上にもつながるものと考えます。



当社といたしましては、今後も継続して持続可能な物流の実現に向けて、顧客、物流事業者と連携しながら、コスト削減の強化に努めるとともに、環境負荷の低減などの諸課題に取り組んでまいります。





## 品質保証

品質マネジメントシステムを通じて、顧客への信頼を得るとともに、イノベーション実現に貢献しています。

### 全社品質保証システム

当社は全社一体となった品質マネジメントシステムを展開し、常に顧客目線に立った品質保証活動を実践することで、「安心して使用できる製品とサービス」を提供し、顧客満足度の向上を目指しています。

また、広義の品質保証により、「顧客満足・当社満足・社会満足」の実現を目指した品質活動を展開してまいります。

### 品質保証体制

全社品質保証の統括部門として本社組織であるRC室に品質保証部を置き、更に各地区に品質保証課を設置し、横断的な品質保証活動を展開しています。



### 品質保証活動

品質保証部では、「品質保証部連絡会」を毎月開催し、組織的な品質保証活動を進めるための調整や審議を行い、国内各地区の調和を図っています。

また、毎月の「品質月報検討会」において、発生した品質トラブル（苦情・クレーム・内部不適合）の対応を協議し、再発防止策の妥当性確認と他地区への水平展開を行っています。更に、この結果をまとめた「品質月報」を毎月、経営層、部門長および海外拠点に報告し、品質意識が全社に浸透するよう、品質保証の強化に取り組んでいます。

各地区工場においては、毎月「品質会議」を開催し、トラブルの発生状況およびその対応方法を報告し審議するとともに、その審議結果を共有することで、同一トラブルの発生を抑制しています。

品質保証活動におけるキャッチフレーズ：  
顧客満足・当社満足・社会満足の実現を。

更に予防処置の一環として、品質リスクアセスメントにより隠れたリスクの先取りを行うことで品質トラブル削減に取り組んでいます。



品質会議の様子

### 品質監査

品質保証システムの維持・改善のため、各地区工場に対して、品質保証部門による「工場品質監査」および「QCパトロール」を実施しています。

「工場品質監査」は、品質保証部門のスタッフが監査員となり、製造部門と一体となって改善の機会を見つけ出し、品質トラブルの未然防止と顧客満足の向上に繋がっています。

また、「QCパトロール」では、現場の4S状況や表示類による識別管理状況の確認、あるいは、製造部門と品質保証部門とで、品質リスク抽出を現地で行い、改善策の考案・実施に向けた取り組みを展開しています。



海外工場監査の様子

国内工場監査の様子

QCパトロールの様子

### グローバル品質保証体制の推進

海外拠点とは「グローバル品質連絡会議」を半期ごとに開催し、品質や製品安全に関わる活動状況について情報交換や指導、各課題への協議を行っています。海外工場に対する工場監査も定期的に開催し、QMSの実施状況や品質トラブル防止に向けた活動状況を確認し現地と一体となった品質活動を展開中です。

## 社員とともに



企業が持続的に成長を続けるためには、社員の成長が必要です。当社では「人」を財産と考えています。自ら考え成長する“人財”の育成に取り組むとともに、社員が安心して働きやすい職場づくりに向けた施策を実施しています。

### 当社の人財育成方針

当社が「求める社員像」は、当社のありたい姿の実現に向けてまい進し、全社員が共有すべき価値観“SEIKA WAY”を意識、実践する人です。そのような社員の育成のため、人財育成方針にしたがい、人財の育成に関わる環境整備、諸施策を実施しています。各階層別の研修プログラムをはじめ、グローバルな事業展開に必要な知識・スキル習得や、各職場別に必要となる技術・技能伝承教育など様々な教育プログラムを用意しています。

#### ■ リモート教育・e-learningの拡充

2020年度は新型コロナウイルス感染予防対策として、各種研修をリモートでの実施に切り替えました。コロナ禍においても研修・成長の機会が失われないよう、環境整備および教育ツールを拡充しています。情報セキュリティ、法務教育やSDGs推進など一部の教育においては、社員それぞれが都合の良い時間・場所で受講できるe-learningも導入しています。

#### ■ 化学品安全教育

化学メーカーとして社会的責任を果たす上で、積極的かつグローバル化に対応したレスポンシブル・ケア活動を推進することが求められています。そのためには、全社員が化学品を取扱うリスクを理解することが必要です。2020年度は工場・研究・本社および新入社員と幅広く化学品安全教育を実施いたしました。今後も継続して教育を実施し、企業と社会の持続可能な発展に貢献してまいります。

### 健康経営の推進

#### ■ 健康経営基本方針と主な取り組み

当社は、健康経営を経営の重要課題の一つとして積極的に取り組むことを宣言し、健康経営基本方針のもと、健康の維持・増進のための様々な施策を行っています。

### 【健康経営基本方針】

1. 当社は、従業員とその家族が安心して生活できるよう、「健康経営」に向けた取り組みを推進します。
2. 当社は、従業員自身が自律的に健康の維持・増進に取り組むことを積極的に支援します。
3. 当社は、住友精化健康保険組合および住友精化労働組合と一体となり、従業員とその家族の心身の健康づくりを推進します。

主な取り組み内容としては、全社員の定期健康診断・二次健診の100%実施（目標）、就業時間中の禁煙化、インフルエンザの感染症予防のため事業所内での予防接種実施などに取り組むほか、インセンティブマネジメントの仕組みを取り入れて健康改善度合いに応じたポイント付与を行っています。

また、家族の健康診断について、新型コロナウイルスの影響により中止となった健康フェアに替わり、巡回健診の手配・補助を実施いたしました。

今後も、従業員とその家族の「心と身体の健康の保持・増進」を重要な経営課題の一つとして認識し積極的に取り組んでまいります。

### 健康経営優良法人2021（大規模法人部門）に認定

当社は、2021年3月、経済産業省と日本健康会議が共同で認定する「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に申請を行い、昨年度に引き続いて認定を受けました。

今後も継続して健康経営優良法人に認定されるよう、より一層働きやすい職場環境を実現し、企業の更なる成長につなげてまいります。





■ウォーキングキャンペーン実施

日々の運動を習慣づけることによる健康増進および社内交流の促進を目的として、個人対抗およびグループ対抗のウォーキングキャンペーンを実施いたしました。エントリー方式のグループ対抗戦ではのべ108名が参加し、熱く競い合いました。コロナ禍における外出自粛・在宅勤務により減少していた平均歩数が十数パーセント増加し、終了後も継続して効果が見られました。今後も同様のキャンペーンを継続して実施し、健康意識の啓発、向上を図ってまいります。

■ワーク・ライフ・バランス (WLB) の推進

■ワーク・ライフ・バランス推進委員会

社員が、より働きがい、生きがいを持って働けるよう、ワーク・ライフ・バランス推進委員会を設け、実労働時間削減、ダイバーシティ推進、柔軟な働き方の実現など、更なるWLB推進に向けた諸課題の抽出と対策案に関して協議を行っています。

■柔軟な働き方の実現

様々な勤務体系の社員一人ひとりが柔軟に働ける環境づくりのため、時間単位の年次有給休暇制度および時間単位の育児・介護休暇を導入いたしました。併せて、フレックスタイム勤務の積極的な活用に向けて、制度の整理・周知も実施いたしました。多様化するライフスタイルにあわせて生活と業務の調和を図りながら、効率的な勤務・生産性向上の推進に取り組んでまいります。

■作業服 (マタニティ仕様)

工場地区で勤務する社員は、安全管理上、就業中の作業服着用が義務付けられています。近年、出産を控える女性社員が増えている中で、『出産時期が近づくと、作業服の仕様は体形に合わず着用しにくい』との声が社内でも多く寄せられていました。これらの声を受け、ワーク・ライフ・バランス推進委員会での検討の結果、出産を控えた女性社員の職場環境改善を図るため、マタニティ仕様の作業服を作製いたしました。マタニティ仕様の作業服は通常の作業服と比べ、仕様が大きく異なります。上着は立体的な造りで締め付けがなく、ズボンの腹部にはゴム素材を採用して、お腹の成長にあわせて調整できる仕様となっており、出産を控えた女性社員にとって着心地が改善されたと評判です。今後も多様な社員の職場環境改善に向けて、取り組んでまいります。

■ハラスメント教育の実施

改正労働施策総合推進法 (通称：パワハラ防止法) の施行により、2020年6月から職場におけるパワーハラスメント防止のために、雇用管理上必要な措置を講じることが義務づけられました。これを受けて、当社では、ハラスメント相談窓口の担当者・管理監督者・一般社員、それぞれに対し適切なハラスメント教育を実施いたしました。今後も継続して教育を実施し、ハラスメント防止に努めてまいります。

株主・投資家とともに

株主、投資家などのステークホルダーならびに広く社会に対して、会社情報を正確、かつ迅速に開示しています。

IRポリシー

当社は、投資家情報 (IR情報) を迅速かつ適確に開示することを基本としています。開示にあたっては、法令および証券取引所の規則に従い、当社の事業活動を理解いただくために役立つ情報を提供してまいります。

情報開示方法

情報開示は、公正・適時・公平な開示を基本に、東京証券取引所のTDnet (適時開示情報伝達システム) およびマスコミ (記者クラブなど) を通じて行っています。

■IR情報サイト

当社ウェブサイトでは、決算、業績予想、株主総会などのIR情報を掲載しています。ご利用される皆様にとって、より情報が探しやすい、読みやすいサイトを目指し、構成やデザインを2020年11月に全面的に刷新しました。



IRサイト

これからも、皆様のお役に立つ情報のご提供、内容の拡充に努めてまいります。

株主・投資家とのコミュニケーション

■株主総会

当社は株主総会を、株主の皆様へ、適切かつ正確な情報を提供し、ご意見を伺うための重要な機会として位置づけています。わかりやすい事業報告に注力し、電子議決権行使制度も採用しています。なお、2020年度にかかる株主総会につきましては、皆様の安全および利便性を考え、ご来場いただけない株主様もインターネットを用いて株主総会当日の議事進行の様子をライブ配信にてご視聴いただくことが可能な「ハイブリッド参加型バーチャル株主総会」を導入いたしました。

■株主に対する利益還元

当社は、剰余金の配当に関しては、株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、各期の収益状況をベースに、安定的な配当実施および今後の事業展開に備えるための内部留保などを勘案して決定することを基本としています。

■決算説明会

主にアナリスト、機関投資家の皆様を対象に定期的 (年2回) に決算説明会を開催しております。決算説明会では主に決算概要や業績見通しなどについて説明を行い、投資家の皆様からの様々なご質問にもお答えしています。また、当社ウェブサイトにおいて、説明会後に動画 (音声) 配信を実施しています。

インサイダー取引防止への取り組み

当社グループでは、健全な株式取引市場の構築のために、インサイダー取引の未然防止を徹底しています。社内規程により、社員の当社株式取引について、疑義が生じないように、所定の手続きを実施することを定めています。

TOPICS

次世代育成支援・女性活躍推進に関する行動計画

多様な人財が、仕事と生活の調和がとれた健康で豊かな生活を実現し、個性と能力を十分に発揮することができる雇用環境を整備するため、2021年4月1日から2024年3月31日までの3年間に、次のように行動計画を策定しました。目標達成に向け、ワーク・ライフ・バランス推進委員会と連携しながら計画を推進してまいります。



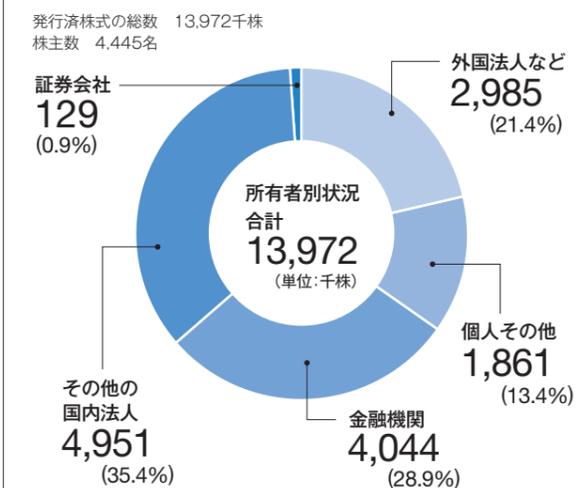
未来の科学者育成を目的として、インターンシップに加え、若手社員を中心に様々なイベントにも出展

- 目標1 時間外労働時間を対前年度比10%削減する。
- 目標2 男性社員の育児休業取得率を13%以上とする。
- 目標3 採用者に占める女性比率を30%以上とする。
- 目標4 管理職に占める女性比率を5%以上とする。
- 目標5 インターンシップなどを通じて若年者の安定就労・自立した生活を推進する。

行動計画は、厚生労働省『両立支援のひろば』で公開しています。

<https://ryouritsu.mhlw.go.jp/hiroba/index.php>

▶株式の状況 (2021年3月31日現在)



# ガバナンスとリスク・コンプライアンス

会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、コーポレート・ガバナンスの強化、リスク・コンプライアンス管理体制の整備・推進に取り組んでいます。

## コーポレート・ガバナンス

### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

- 当社は、以下の基本的な考え方の下で、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。
- ① 当社は、株主の正当な権利行使に関し、情報提供の充実や権利行使の機会の確保を行い、また、株主の平等性を実現します。
  - ② 当社は、株主をはじめ顧客・従業員・地域社会などのステークホルダーの立場を尊重した企業風土の醸成と、これらとの協働に積極的に取り組みます。
  - ③ 当社は、役職員が従うべき行動準則を制定・実践し、内部統制システムを適確に運営します。
  - ④ 当社は、英文での決算情報の開示やウェブサイトによる適時の情報提供など、適切かつ充実した情報開示を行い、経営の透明性の確保を行います。
  - ⑤ 当社の取締役会は、株主に対する受託者責任および説明責任を踏まえ、会社の持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を促すべく、経営方針および企業戦略を示すとともに、迅速・果敢な意思決定を行います。
  - ⑥ 当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するように株主と建設的な対話を行い、これに際して当社の経営戦略や経営計画をわかりやすく説明します。

### コーポレート・ガバナンス体制

コーポレート・ガバナンスの体制は右図のとおりです。  
当社は、取締役会の監査・監督機能の一層の強化とコーポレート・ガバナンスの更なる充実を図るとともに、権限委譲による迅速な意思決定と業務執行により、経営の公正性、透明性および効率性

を高めるため、会社の機関設計を、監査等委員会設置会社としております。

役員指名報酬委員会（社長、人事担当取締役と独立社外取締役3名で構成）は、取締役・経営陣幹部の指名・報酬（監査等委員である取締役を除く）に関する諮問機関です。

経営会議は、各業務を統括する執行役員がグループ経営上の重要事項を議論する場です。

役員連絡会は、取締役会の内容の執行役員への伝達、執行役員間の連絡、調整、情報交換および執行役員による業務報告等を行い、意見交換を行う場です。

内部統制委員会は、各業務を統括する執行役員により構成され、経営レベルで、リスク管理に係る具体的な体制の構築・運営とその監督を実施しています。経営会議、役員連絡会および内部統制委員会には、常勤の監査等委員である取締役も出席し、業務執行の状況について、業務執行をしない立場からチェックを行っています。

内部監査部は、業務執行の監査を行っています。

## リスク・コンプライアンス

### ■ 日常のリスク対策

リスクの現実化を未然に防止するため、リスク・コンプライアンス委員会を設置し、経営陣幹部からなる内部統制委員会での決定事項を、現場レベルに展開し、これに基づくリスク対策の実施とその監督を行っています。これらにより得られた現場レベルでの対策の成果や課題を、内部統制委員会にフィードバックし、経営レベルで課題の共有・検討を行い、そこで得られた対策を現場に展開するというサイクル（PDCAサイクル）を実施することで、より効果的なリスク対策が実施できるよう努めております。

コンプライアンス違反も、リスクの一つと位置付

けて、同様の取り組みを行っています。

### ■ 緊急時の対応

緊急事態（人命への危険や企業の財産・信用に重大な影響を及ぼす事態、自然災害など）の手順を事前に定め速やかに被害拡大の防止と事態の收拾を図るための体制を構築しております。また、工場事故を想定した訓練を実施し、災害発生時の具体的な対応の習熟に努めています。

### ■ コンプライアンス違反制度

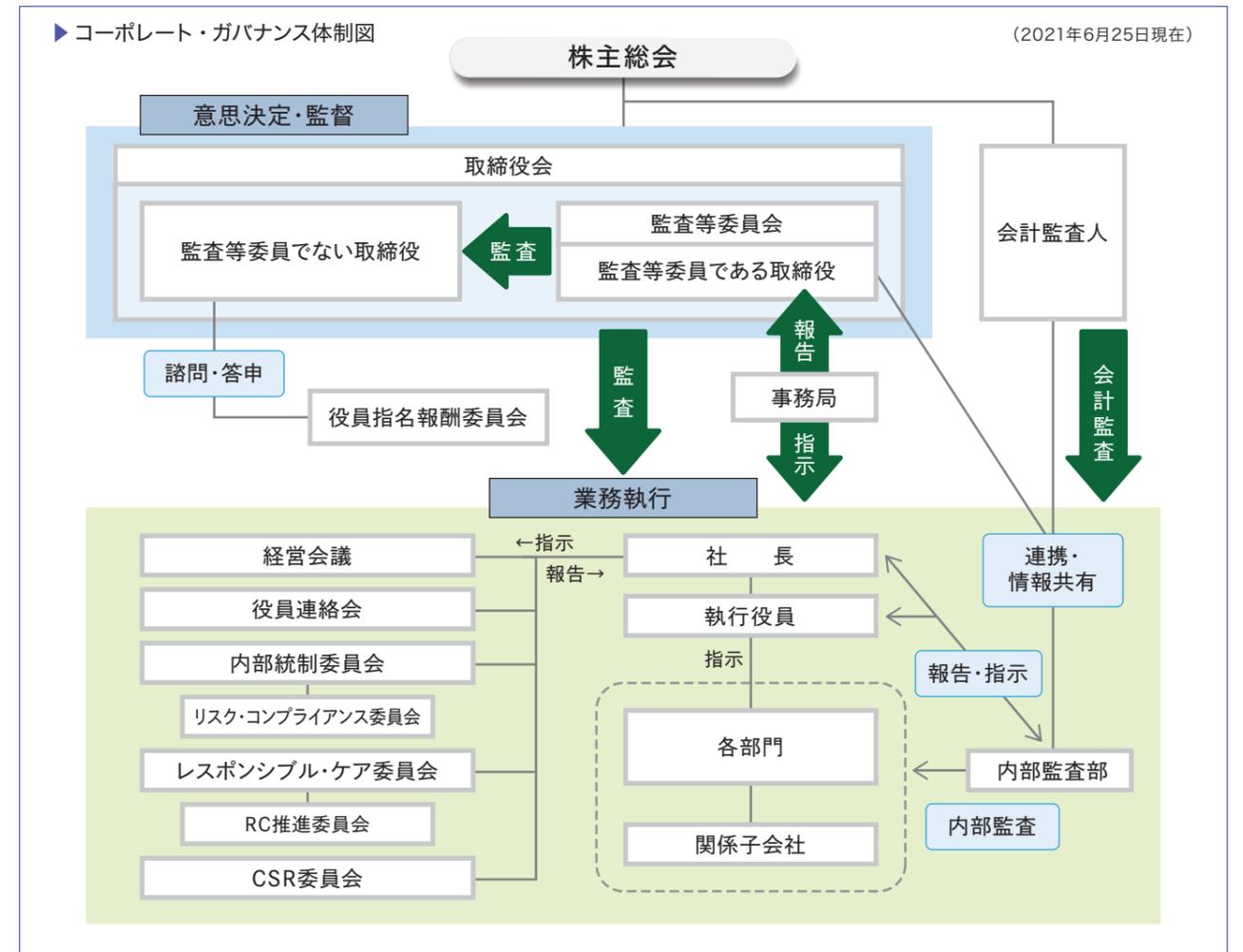
コンプライアンス違反やその恐れに関する事実について、ホームページ、電子メールと郵便の方法により、内部通報の受付をしています。窓口は、社

内と社外（法律事務所）に設けています。コンプライアンス違反通報制度は、当社従業員以外にも、元従業員や取引先など、社外からも利用でき、より広い範囲からの通報を受け付けています。

また、通報者の秘匿保護と通報者に対する不利益の取扱いの禁止を徹底しています。

### ■ コンプライアンス教育

新入社員、リーダー・主任層や新任管理職などの階層別集合研修やテーマに応じた職場教育を行うなど、様々な啓発・教育の機会を設け、コンプライアンスの向上に努めています。



# 会社概要と2020年度の業績

## 会社概要

設立：1944(昭和19)年7月20日 資本金：9,698百万円 従業員数：1,358名(連結ベース2021年3月31日現在)

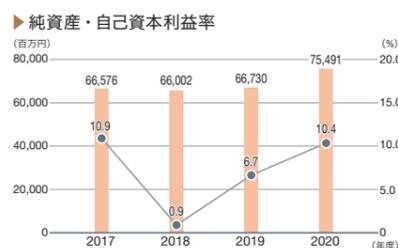
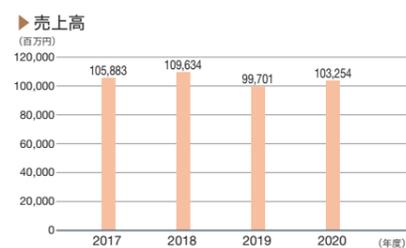
## 2020年度の業績

2020年度の国内外の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、経済活動が大幅に縮小するなど、厳しい状況が続きました。

このような状況のもとで、2020年度の当社グループの売上高は1,032億5千4百万円(前期比3.6%増)、営業利益は101億1百万円(前期比29.9%増)、経常利益は103億7千5百万円(前期比51.1%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、一部の研究開発用資産に係る今後の稼働計画を勘案し、減損損失を7億3百万円計上したことなどにより、71億1千9百万円(前期比66.1%増)となりました。

また、1株当たり当期純利益は516.20円、ROEは10.4%となりました。

## 財務指標



**住友精化 決算 検索**

より詳細な財務情報をご希望の方は、当社HPに掲載している決算短信その他資料をご覧ください。  
<https://www.sumitomosai.co.jp/ir/zaimu/>

# 人々の暮らしに潤い“URUOI”を与える吸水性樹脂(アクアキープ)

## 吸水性樹脂事業

吸水性樹脂「アクアキープ」は、ユーザーのニーズに合わせ吸水機能を自在にコントロール可能。人々の暮らしに潤い“URUOI”を与える住友精化の技術。



事業を通じた社会貢献

一製品紹介—  
**AQUA KEEP / アクアキープ**



職場インタビュー

吸水性樹脂事業部 業務室  
**山本 真彩さん**

国内外の顧客要望や市場ニーズをとらえ、事業活動にフィードバックしていきます



吸水性樹脂「アクアキープ」は、自重の数百倍の水を吸収・保持する機能を有しています。長年にわたり、独自に研究開発した技術で吸水性能を自在にコントロールすることで、ユーザーの多様なニーズに対応しています。この技術を利用してつくられる製品は、紙おむつやペットシートなどの日用品、電力・通信ケーブルの止水材といった工業用製品など多岐にわたります。日本をはじめ韓国、シンガポール、フランスに製造拠点を有し、世界各地域の需要に応えられる体制をとっています。

今後も独自性を活かした製品とサービスの提供を通じて、SDGsの目標達成に取り組み、地球環境や人々の暮らしの改善に貢献してまいります。

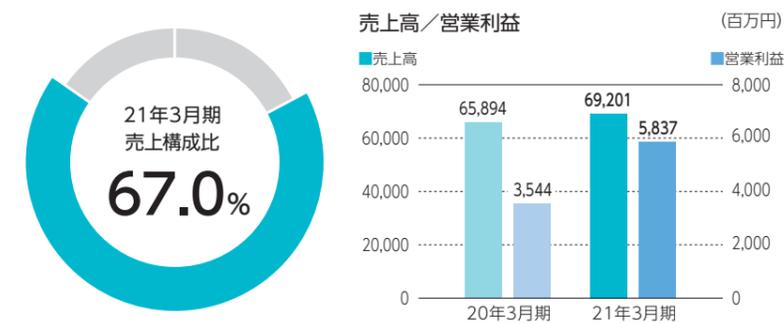
私は主に製品に関わる事業企画、市場調査を担当しています。市場分析や国内外の多種多様な企業との情報交換を通じて事業運営に有益な情報を収集・分析し、経営層やチームに提供できるよう努めています。コロナ禍でも電話/Web会議を通じて海外の取引先と直接話す機会を大切にしています。そういったコミュニケーションの中から市場の動向を感じ取り、社内の状況も考慮しうえて次につながるアクションを提案することができたときに面白さを感じます。業務を行う中で、使い捨て紙おむつなど衛生材料をはじめとした、吸水性樹脂を取り巻く事業環境における環境意識の高まりを肌で感じています。当社でも製品の開発・改良など環境負荷低減に取り組んでおり、今後もあらゆる可能性を視野に入れながら検討を進めています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で予測不能の事態が発生しましたが、前広な情報収集や国内外の拠点のフル活用など製販一体で対応したおかげで、私たちの暮らしに欠かせない衛生材料やインフラ整備への資材となる我々の製品を欠かすことなく提供することができました。今後も皆様が安心して使用できる製品の提供のため業務に励みたいですね。

**吸水性樹脂事業の業績**

当事業では、売上高は692億1百万円(前期比5.0%増)、営業利益は58億3千7百万円(前期比64.7%増)と増収増益となりました。売上高は、中国顧客が衛生材料の原材料調達を優先する動きを拡大させたことなどにより販売数量が増加したため、増収となりました。営業利益は、販売数量の増加に加えて、原料価格の下落により増益となりました。

**主要製品**  
 高吸水性樹脂(衛材用途、工業用途、その他)



# 世界のお客様に“URUOI”をお届けする機能化学品

## 機能化学品事業

快適な生活に欠かせないパーソナルケア製品から高性能な接着剤やゴムなどの工業用製品、電池・エネルギー材料に至るまで、幅広い分野に対応。世界のお客様に“URUOI”をお届けする住友精化の機能化学品。



# 「化学屋をベースとしたガス屋」はNO.1クリエイター

## ガス・エンジニアリング事業

「化学屋をベースとしたガス屋」という独自性を新製品開発・新市場開拓に活用し、他社に先駆けて新製品・新用途をいち早く提供し続けるNO.1クリエイターになります。



### 事業を通じた社会貢献

一製品紹介一

#### HEC



HEC（ヒドロキシエチルセルロース）は、セルロースを原料とした水溶性の高分子化合物です。原料であるセルロースは自然界で大量に入手できるサステナブルな原料ソースとして、今もなお注目され研究が続けられている物質です。

HECは化粧品や塗料の増粘剤、重合用添加剤など様々な分野で用いられています。当社HECは独自技術により製品中に含まれる金属不純物を低減した高純度グレードを有しており、厳しい基準を持つ化粧品やシリコンウエハ研磨剤の原料として使用されています。

今後も社会のニーズに合致した製品を開発し提供することで、世界共通の目標であるSDGsの課題に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

### 職場インタビュー

開発研究所 ポリマー合成G

水橋 俊成さん

担当している開発品を製品化し、社会貢献できることを目標に励んでいます



私は微粒子材料の研究開発に携わっており、製法検討や取得品の評価を通じて担当テーマを推進しています。微粒子材料は、塗料やインキ、各種コーティングなど、多様な用途に使用されており、用途に応じて必要な機能も異なります。新規製品の開発には幅広い知識が求められるため、文献等を参照しながら日々知識をアップグレードするよう心がけています。特に近年は地球環境問題（温暖化や海洋ゴミ）が、数多くクローズアップされており、

国や地域をはじめ、各企業がSDGsへ向けた事業活動をスタートしています。私自身も微粒子材料を使用した環境改善に関わる検討を実施しており、このような製品開発に携われることに大きなやりがいを感じています。これからも研究開発に励み、担当している開発品を通じて社会貢献することを目標に取り組んでいきます。

### 事業を通じた社会貢献

一製品紹介一

#### 半導体用材料ガス



半導体用高純度特殊材料ガスは、メモリやロジックICなどの半導体デバイスの成膜・エッチングなどに使用されています。例えば、高純度炭化水素系製品では3Dフラッシュメモリや従来のパワー半導体に代わる省エネデバイスとして普及が期待されるSiCパワー半導体に使われています。

化学メーカーとして培った合成・精製技術と国内初の計器校正用標準ガスメーカーとしての分析・取り扱い技術を基に、様々な半導体用材料ガスを国内外へ安全・安定的に供給することで、SDGsの課題解決に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

### 職場インタビュー

別府工場 ファインガス課

松浦 勇樹さん

安全を第一に製品作りに取り組んでいます



私は別府工場ファインガス課に所属し、主に半導体用材料ガスの製造業務に携わっています。主な業務内容としては、ユーザーからのオーダーに応じて生産調整を行い、設備の監視や容器への充填、出荷準備作業などを行っています。

コロナ禍により働く環境は大きく変化しましたが、当課ではwithコロナでの状況の変化に応じてルールの見直しを実施し密を避けるなど、働き方を柔軟に変化させ対応してきました。このように職場環境が大きく変化する中、「安全をすべてに優先

させる」ことを基本に「作業前の一呼吸」や「相互注意」を確実に実行、「危険予知活動」や「リスクアセスメント」の活動を通して安全、安定な生産に努めています。

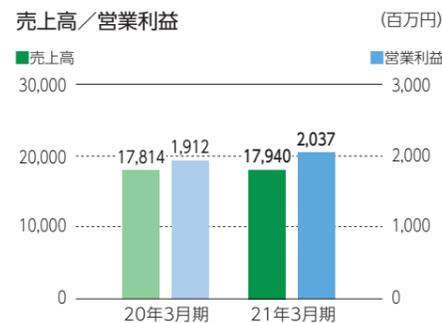
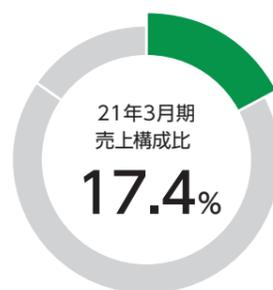
半導体用材料ガスはスマートフォンやPCなど多くの電子機器に使われており、私たちが現代で文化的な生活を送るためには欠かせない製品の製造に携わっていることに大きなやりがいを持ち、安定供給が継続できるように責任を持って業務に取り組んでいきます。

### 機能化学品事業の業績

当事業では、売上高は179億4千万円(前期比0.7%増)、営業利益は20億3千7百万円(前期比6.5%増)と増収増益となりました。これはラテックス製品や医薬中間体の販売数量が増加したことなどによるものであります。

#### 主要製品

水溶性樹脂、合成ゴムラテックス、エマルジョン、粉末・微粉末ポリエチレン、医薬関連製品、各種添加剤など

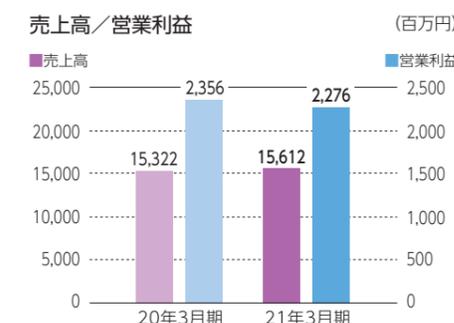
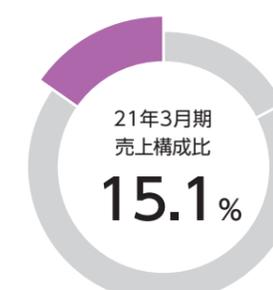


### ガス・エンジニアリング事業の業績

当事業では、売上高は156億1千2百万円(前期比1.9%増)、営業利益は22億7千6百万円(前期比3.4%減)と増収減益となりました。売上高については、エレクトロニクスガスなどの販売数量が増加したことにより増収となりましたが、営業利益については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、飲食店店舗における食品用ガスの需要が減少したことなどにより減益となりました。

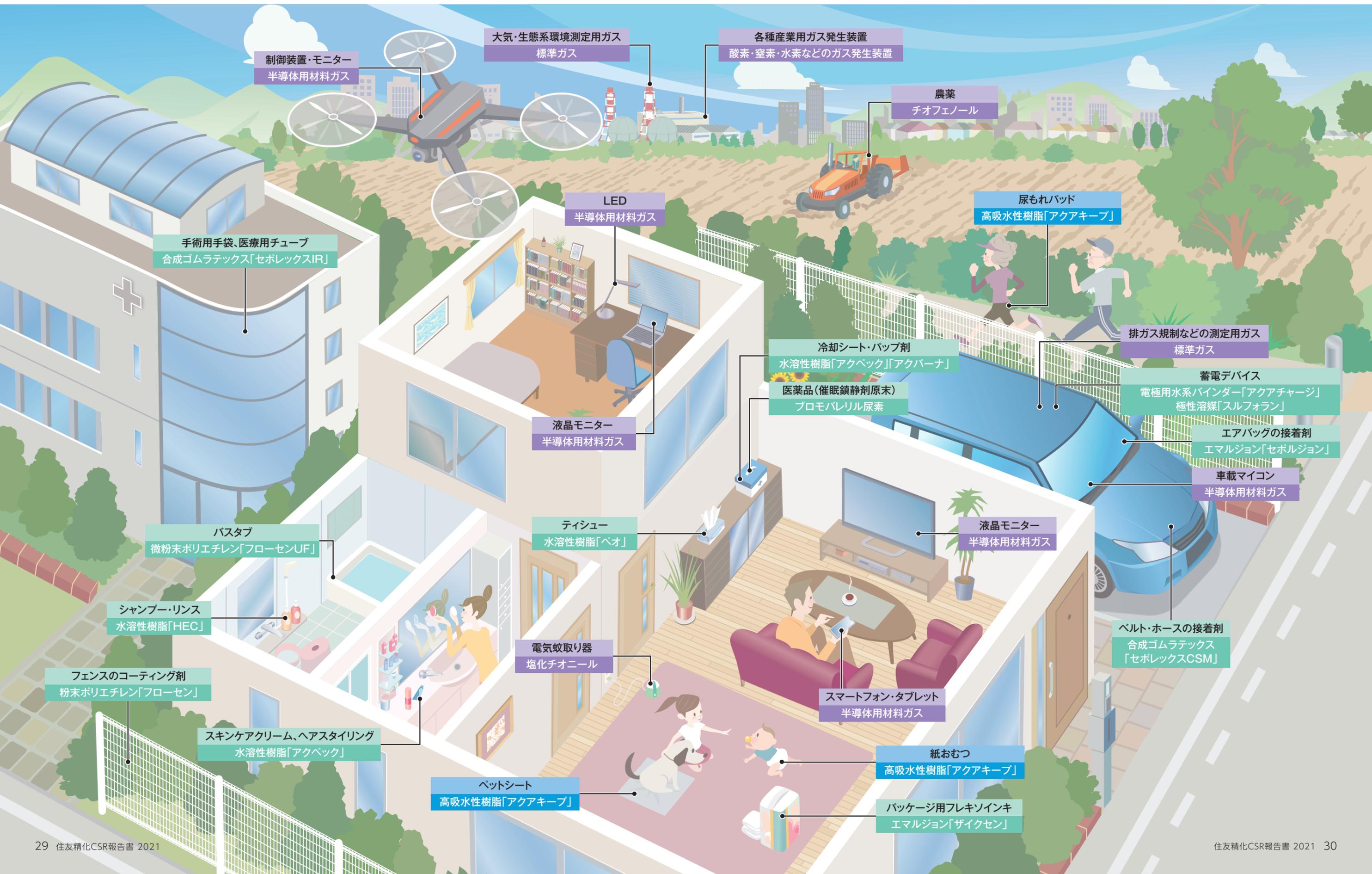
#### 主要製品

半導体用材料ガス、標準ガス、工業薬品、ケミカルガス、PSAガス発生装置など



# 暮らしの中の住友精化

■ 吸水性樹脂事業 ■ 機能化学品事業 ■ ガス・エンジニアリング事業



制御装置・モニター  
半導体用材料ガス

大気・生態系環境測定用ガス  
標準ガス

各種産業用ガス発生装置  
酸素・窒素・水素などのガス発生装置

農業  
チオフェノール

手術用手袋、医療用チューブ  
合成ゴムラテックス「セボレックスIR」

LED  
半導体用材料ガス

尿もれパッド  
高吸水性樹脂「アクアキープ」

排ガス規制などの測定用ガス  
標準ガス

冷却シート・バップ剤  
水溶性樹脂「アクベック」「アクバーナ」

蓄電デバイス  
電極用水系バインダー「アクアチャージ」  
極性溶媒「スルフォラン」

医薬品（催眠鎮静剤原末）  
プロモバレリル尿素

エアバッグの接着剤  
エマルジョン「セボルジョン」

液晶モニター  
半導体用材料ガス

車載マイコン  
半導体用材料ガス

バスタブ  
微粉末ポリエチレン「フローセンUF」

ティッシュ  
水溶性樹脂「ペオ」

液晶モニター  
半導体用材料ガス

ベルト・ホースの接着剤  
合成ゴムラテックス  
「セボレックスCSM」

シャンプー・リンス  
水溶性樹脂「HEC」

電気蚊取り器  
塩化チオニール

スマートフォン・タブレット  
半導体用材料ガス

フェンスのコーティング剤  
粉末ポリエチレン「フローセン」

スキンケアクリーム、ヘアスタイリング  
水溶性樹脂「アクベック」

紙おむつ  
高吸水性樹脂「アクアキープ」

ペットシート  
高吸水性樹脂「アクアキープ」

パッケージ用フレキシソインキ  
エマルジョン「ザイクセン」

# グループネットワーク

## 国内拠点



## 海外拠点



## TOPICS

### 当社グループの新型コロナウイルス感染症対策

当社では、当社の製品が、皆様の生活の基礎を支える素材であることを踏まえ、万一の場合にも製造が停止することがないよう、各拠点にて、様々な対策を講じて、感染防止に取り組んでおります。

シンガポールの拠点では、テナントビルの実施している取り組みである感染者発生時の接触者特定のため、QRコードを利用したオフィスビルへの入構手続きと各テナントへの入室手続きを行っております。

#### < 主な取り組み例 >

- 出社前の健康観察・マスクの着用
- 時差出勤、テレワーク、リモート会議(TV/Web)の推奨
- アクリル板・アルコール消毒液の設置
- 執務室などの定期的な換気・消毒
- 時差喫食
- サーモカメラの導入



海外事例(スミトモ セイカ アジア パシフィック プライベート リミテッド [シンガポール])



国内事例(姫路工場食堂)

### 国内拠点

本社：大阪、東京  
営業所：大阪、東京

工場：別府工場(兵庫)、姫路工場、千葉工場  
研究所：開発研究所、生産技術研究所

### 連結子会社

	会社名		業務内容
国内	セイカテクノサービス株式会社		各種サービス業務
海外	スミトモ セイカ シンガポール プライベート リミテッド	シンガポール	高吸水性樹脂の製造
	スミトモ セイカ アジア パシフィック プライベート リミテッド	シンガポール	高吸水性樹脂・機能化学品等の販売
	台湾住精科技(股)有限公司	台湾	エレクトロニクスガスの製造・販売
	住精ケミカル株式会社	韓国	エレクトロニクスガスの製造・販売
	スミトモ セイカ ポリマーズ コリア カンパニー リミテッド	韓国	高吸水性樹脂の製造・販売
	住友精化(中国)投資有限公司	中国	中国における住友精化グループの地域統括会社 高吸水性樹脂・ガス製品等の販売
	住精高分子技術(上海)有限公司	中国	技術サービスの提供、市場調査
	住精国際貿易(上海)有限公司 <sup>(※)</sup>	中国	高吸水性樹脂の販売
	住精科技(揚州)有限公司	中国	機能化学品の製造・販売
	スミトモ セイカ ヨーロッパ S. A. /N. V.	ベルギー・フランス	高吸水性樹脂・機能化学品等の製造・販売
	スミトモ セイカ アメリカ インコーポレーテッド	アメリカ	機能化学品の販売

(※) 2021年3月に住精国際貿易(上海) 有限公司を設立いたしました。

# 住友の事業精神



## 1. 営業の要旨

- 第1条：わが住友の営業は信用を重んじ確実を旨とし、もってその鞏固隆盛を期すべし。  
 第2条：わが住友の営業は時勢の変遷、理財の得失を計り、弛張興廃することあるべしといえども、いやしくも浮利にはしり軽進すべからず。

## 2. 自利利他 公私一如

### 住友の事業精神について

「営業の要旨」の第1条は、何よりも取引先の信頼、社会の信頼に応えることを大切にすることを示しています。第2条は、社会の変化に素早かつ確実に対応しながら利潤を追求し、常に事業の刷新を図ること、という進取の精神を示しており、その上で浮利を追うような軽率・粗雑な行動を強く戒めています。

また、「自利利他 公私一如」とは、「住友の事業は、住友自身を利するとともに、国家を利し、かつ社会を利するものでなければならない」とする考え方であり、常に「公益との調和」を図り、企業の社会的責任を果たすべきことを表しています。

こうした精神は、住友グループ各社に現在も受け継がれています。

### 住友の井桁マークについて

井桁マークは住友グループのシンボルとして知られています。井桁は本来「泉」「井戸」を象徴する紋章で、天正年間、住友の元祖が初めて京都に店を開いたころの屋号「泉屋」に由来しています。

明治以後、その事業の拡大発展とともに井桁マークは住友事業全体の象徴として、社章や商標に用いられるようになり、現在では、連系各社を中心に多数の関連会社を擁する住友グループのシンボルとして社会の大きな信頼をかちえています。

### CSR報告書Webサイトのご案内



本報告書および過去の報告書は、当社HPにも掲載していますので併せてご覧ください。

<https://www.sumitomoseika.co.jp/csr/responsiblecare/>

## 第三者検証意見書



住友精化株式会社  
代表取締役社長 小川 育三 殿

「住友精化株式会社CSR報告書2021」

第三者検証 意見書

2021年8月6日

一般社団法人 日本化学工業協会  
レスポンシブル・ケア検証センター長

尾崎 智



### ■検証の目的

レスポンシブル・ケア報告書検証は、住友精化株式会社が作成した「住友精化株式会社 CSR 報告書2021」(以後、報告書と略す)に記載された下記の事項について、レスポンシブル・ケア検証センターが化学業界の専門家の意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性
- 2) 数値以外の記載情報の正確性
- 3) レスポンシブル・ケア活動の評価
- 4) 報告書の特徴

### ■検証の手順

- ・本社において、各サイト(事業所、工場等)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、並びに彼らより資料提示・説明を受けることにより行いました。
- ・別府工場において、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び数値以外の記載情報の正確性の調査を行いました。調査は、各業務責任者及び報告書作成責任者へ質問すること、資料提示・説明を受けること、並びに証拠物件と照合することにより行いました。
- ・数値及び数値以外の記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

### ■意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
  - ・数値の算出・集計方法は、本社及び別府工場において、合理的な方法を採用しています。
  - ・調査した範囲において、数値は正確に算出・集計されています。
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
  - ・報告書に記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性あるいは文章の分かり易さに関し、若干の問題があることを指摘しましたが、現報告書では修正されており、現在修正事項は認められません。
- 3) レスポンシブル・ケア(RC)活動の内容について
  - ・リスクアセスメントを実施して不安全箇所や作業方法の改善、定期的な実地訓練等、地道な活動を重ね2014年度より、7年間重大トラブル“ゼロ”の継続していることを高く評価します。
  - ・事業活動の業務の中からテーマを選定して取り組み、SDGsの達成に貢献していることを評価します。
    - 衛生材及び社会インフラ整備用に吸水性樹脂を供給 ⇒「3. すべての人に健康と福祉を」、「8. 働きがいも 経済成長も」
    - 金網フェンス用にコーティング樹脂を供給 ⇒「11. 住み続けられるまちづくりを」
    - 温暖化ガス回収用にガス回収精製装置を供給 ⇒「13. 気候変動に具体的な対策を」、「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」
  - ・カーボンニュートラルについては、各部門長で構成する準備委員会を立ち上げ、キックオフしたことを評価します。
  - ・生産・包装計画を見直し、緩やかな先入先出の運用、管理表による目標・成果の可視化等により、外部倉庫の維持比率を下げ、物流コスト削減に貢献したことを評価します。
  - ・別府工場では、危険源洗い出しを積極的に行い、計画的に対策を進めていることを高く評価します。(危険源の発掘件数2,043件、対策実施率81%)
- 4) 報告書の特徴について
  - ・主要事業の製品紹介と、そこで働く社員の意欲を感じさせるインタビュー記事は興味をひきます。( P26 ~ P28 )

以上